

# 相模台小だより



令和3年 12月 23日  
松戸市立相模台小学校  
校長 保坂 和志  
http://www.matsudo.ed.jp/sagami-e/

## 令和3年の終わりに



コロナ禍という言葉が、生活の中で当たり前に使われるようになった令和3年も終わろうとしています。この1年間、大きな事故もなく新型コロナウイルス感染症が拡大せずに済んだことは、子ども達だけでなく保護者のみなさま、地域の方々のご協力によるものであると実感しています。

本当にありがとうございました。いよいよ子ども達が楽しみにしている冬休みが始まります。年末年始はあわただしい中にも、さまざまな行事があります。この時期だからこそ経験できることをたくさん子ども達に体験させ、有意義な冬休みを過ごしてほしいと思います。

さて、12月10日の保護者全体会でお伝えした内容は、現代の子ども達の傾向として

- 1 自分だけ大切にされたい。(注目してほしい。)
- 2 自分には敏感だが、相手には鈍感。(相手の気持ちになって考えられない)
- 3 楽な方に流れやすい。
- 4 気持ちを切り替えることが苦手。といった話をしました。

人間なので上記のようなことは誰にでも当てはまることはありますが、気になるのはその特性が非常に極端に感じる時なのです。

さらに相模台小の子ども達の特性については、大きく見ると

○ 言われたことは、きちんとできる。という長所があります。



しかし、裏を返せば、○言われないとできない。という受け身なことでもあります。

学校だよりでもお伝えしているようにこれからの子ども達に必要な力は、主体性がキーワードになってきます。自分から考えて行動できる姿が数多くみられるよう家庭とともに育てていきたいと思えます。あわせて、11月から始めた「相模っ子スタディスタイル(スタスタ)」の詳細も説明しました。

この冬休み、子ども達ひとりひとりが、1年を振り返り、また新しい年に新たな目標を持ってもらいたいと思っています。

来年もまた努力したことが成果として表れるような年にしていきたいと願っています。

令和3年、保護者のみなさま、地域のみなさまのご理解ご協力を職員一同感謝申し上げます。ありがとうございました。

良いお年をお迎えください。

もう一つ気になること!!

### 情報モラルなどなど...

最近の小学生のスマートフォンの所持率は年々増えているのを感じます。それに伴い、ネットトラブル、生活習慣の不規則化など今までは中学生に多かった大きな問題が、小学生でも現れ始めています。

- 1 安易に unnecessary グループラインやチャットに参加
- 2 保護者の知らないところで遅い時間までの使用
- 3 短い文面で誤解やトラブルが発生
- 4 大きな問題となるまで周囲は気づかない



などという事案が発生しています。これは、ラインだけに限らず、ゲームのチャット機能、動画サイト、数多くの SNS にも言えることです。利便性が優先され、ハードルが下がり、報道される事件などにつながる可能性にもつながってきます。

子ども達は、人が持っていないもの、人より扱い方を知っているという人より優位であるという承認欲求を簡単に満たすために上記のような悪循環にはまってしまうことはありがちです。そうすると睡眠などの生理的欲求は阻害され、一番大切な自己実現欲求に届かないということはよくあることなのです。

学校で情報モラルについての学習は行っていますが、その対応は難しいのです。スマートフォンを与える保護者の責任として、ぜひこの休みに使い方のルールと管理を再度確認してください。

## おめでとう!



### 1 健歯審査会

○優秀賞 6年生      さん      さん      さん      さん      さん

### 2 松戸市小中学校観光絵画コンクール

○特選 1年生      さん      4年生      さん      6年生      さん  
○佳作 1年生      さん      3年生      さん

### 3 JA 農協千葉県小中学生「書写」「交通安全ポスター」コンクール

○「半紙」の部 金賞 5年生      さん  
○「条幅」の部 佳作 5年生      さん

### 4 こども県展

○学校賞 相模台小学校

※ 訂正 12月号No.10でお知らせした4年生      さんは、佳作ではなく、入選でした。大変申し訳ありませんでした。

